

「進んであいさつ飯山っ子 みんなでつくるさわやか飯山」

ねがい

〈目的〉

自立と共生を目指し、飯山学校群では「進んであいさつのできる児童・生徒」を育て、「お互いにルールやマナーを守って気持ちよく生活ができる＝さわやかな学校」づくりを行うことにしました。

つながり

〈内容〉

● 心を育む、児童会・生徒会によるリーダー研修会

夏休みと冬休みにリーダー研修会を開催し、様々な活動を通して児童・生徒の交流を図りました。

縦割りグループに分かれての協議では、各校の課題や改善点について話し合わせ、飯山学校群で共通して取り組む内容がまとめられました。

研修会后、各校で児童会・生徒会が中心となった自治的な活動が活発になり、学校全体に生活改善が見られるようになりました。



【大洲でのリーダー研修会】

● 心を繋ぐ、地域と一体になったあいさつ運動

児童会、生徒会・部活動が中心となり、PTA、「地域のチカラ創出」事業ともタイアップして、あいさつ運動を展開しました。

自分から進んであいさつをする児童・生徒が増えると共に、地域の方同士も挨拶する姿が見られるようになり、町全体にあいさつの輪が広がってきました。



【地域と一体となったあいさつ運動】

● 心を磨く、師弟同行のボランティア活動

児童会、生徒会の働きかけで、学校内外の美化活動を中心に、各校の特色を生かしたボランティア活動の活性化を図りました。

小学校は、日頃お世話になっているコミュニティ周辺の美化活動、中学校は、地域の福祉施設への訪問などを実施し、教員も子どもたちと一緒に汗を流しました。

子どもたちは、周りの人から感謝されることを素直に喜び、回を重ねるごとに参加人数が増加しています。



【地域でボランティアをしている様子】

高まり

〈成果〉

リーダー研修会後の子どもの感想には、「飯山町をあいさつでいっぱい町にしたいと思います。」「飯山町をさわやかな町にしたいと、わたしは心からそう思いました。」など、学校の域を超え町全体のことを考えた、子どもらしい理想に燃える意見が多く寄せられました。

これからも、子どもたちの心の成長を大切にしながら、さらに個々の自尊感情を高める手立てを工夫していきたいと考えています。